

広報

# おやす

2018

4

No.159

「地域の安全を願って」



# がんばる大洲っ子



## 夢に向かって一歩ずつ

河辺小学校6年（現：河辺中学校1年）

上野 颯馬 さん

僕は今、宇和のボーイズリーグのチームで、硬式野球をしています。野球を始めたのは、小学校3年生のときで、市内のクラブで軟式野球をしていました。その後、昨年の夏から硬式野球へ移り、練習に取り組んでいます。僕のポジションはセンターで、外野の中心を守っています。守備範囲が広く大変な部分もありますが、チームの勝利に貢献できる守備がしたいです。

4月からはチームの中学部に移ります。県内には、強いチームが多くありますが、一戦一戦を全力で戦い抜きたいと思います。

中学校を卒業したら高校で野球を続けて、将来は僕の夢であるプロ野球選手になりたいと思っています。険しい道かもしれませんが、僕の好きな言葉である「努力」を信じて、これからも夢に向かって一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。

## 4月の納税など 納期限は4月30日(月)です。

税 別	4月	5月	6月	7月
市 県 民 税			1期	
固 定 資 産 税	1期			2期
軽 自 動 車 税		全期		
国 民 健 康 保 険 税				1期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

## 現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	44,100人 (- 76)	件数 20件( 10件)
男	21,064人 (- 36)	死者 0人( 0人)
女	23,036人 (- 40)	負傷者 29人( 11人)
世帯数	20,047世帯(- 25)	

(2018年2月末現在)

## CONTENTS 目次

- 2 ページ      がんばる大洲っ子・今月の表紙
- 3 ページ～    (特集)『『大洲ええモン』を売り込め 大商談会へいざ出陣』
- 6 ページ～    おおずニュース
- 10ページ～   シリーズ
- 12ページ～   おしらせピックアップ
- 22ページ～   情報ひろば
- 24ページ      集まれO級若モン
- 25ページ～   図書館・保健センター・各種相談ガイド
- 28ページ      がんばるひと  
(竹岡 寿理<sup>じゅり</sup>さん)

## 今月の表紙



平成30年大洲市消防出初式が、3月4日(日)、若宮の河川敷グラウンドで行われました。

式では、各分団によるポンプ車操法、小隊訓練などが披露されました。団員のきびきびとした動作に地域防災への強い意志を感じ、見学に訪れたみなさんは、その勇姿に見入っていました。



(特集)

# 「大洲ええモン」を売り込め 大商談会へいざ出陣 ～第52回スーパーマーケット・トレードショー 2018～



2月14日(水)から16日(金)までの3日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)で開催された「第52回スーパーマーケット・トレードショー 2018」へ、大洲ええモンセレクト認定9事業者がエントリーしました。

この大商談会への出展は、「平成29年度大洲ええモンセレクトブランド戦略支援事業」の一環であるとともに、今年度の販路開拓の集大成として参加しました。今回エントリーした9事業者は、それぞれの熱い思いを持って商談しました。



## 株式会社シロモト食品



商談会場で「◎じゃこカツ」や「じゃこ天」、「ししやも天」などをフライヤーで揚げるパフォーマンスで魅了し、来場した多くのバイヤーの舌をうならせつつ、じゃこ天スティックやじゃこカツボールなどの新商品も数多くの商談を行いました。

## 株式会社サンフーズ



「◎さといもカレー」をはじめ、生産量四国1位を誇る大洲産の栗を使用した栗ごはんの素や、世界チャンピオンにも輝いた有名シェフが監修したパスタソースなど、充実した商品ラインナップで、新たな商談成立に向けて積極的なアプローチを行いました。

## 有限会社中川食品



南予地方に伝わる伝統食材「◎しめとうふ」や大洲産原料にこだわった「◎すくいとうふ」を中心に、飲食店向けの調理方法や食べ方提案など、新たな販路拡大に向けた商談を行いました。

## 有限会社玉井民友商店



事業を活用してパッケージの改良を行った「◎筍のみそ漬」や、新開発した「ちりめん梅高菜混ぜご飯の素」など、100年以上続く老舗漬物店として素材を生かした商品づくりの技量を最大限にアピールした商談を行いました。

## 大洲市森林組合



うま味と香りが凝縮された「◎大洲産原木乾しいたけ（進物用・業務用）」や、家庭料理の隠し味などにも使用できる「乾しいたけパウダー」を出展し、市販のダシをそのまま試飲してもらった後、パウダーを入れたものと比較するなど味覚に訴える積極的な商談を行いました。

## 有限会社大石フーズ



愛媛の郷土料理で知られるいもたきを家庭でも手軽に楽しめるようセットした「◎大洲のこだわりいもたきセット」や、3年間改良を重ねて、防腐剤や保存料の無添加に成功した「◎いもたきレトルトパック」を積極的にPRし、新たな商談へとつなげました。



## 養老酒造株式会社



まろやかな麴こうじの香りを楽しめる「◎清酒本醸造 風の里」や、芳醇な香りがする生原酒「◎清酒純米にごり 風の里」を中心に、味と品質を重視する本物志向の目利きバイヤーへ積極的な商談を行いました。

## 末広製菓



古くから南予地方の代表的なお菓子として有名な「◎唐饅頭」や独自製法により食べやすくやわらかな食感に仕上げた新商品「◎鬼とうまん」を積極的に試食提供し、お土産品や隠れた和菓子商材として、売り場での販売提案も交えた商談を行いました。



## 有限会社富永松栄堂



パッケージなどブラッシュアップした商品を展示し、来場したバイヤーなどからのユーザーニーズ調査を行い、今後の商品づくりや販売展開に向けた取り組みを行いました。

今回は過去2年間の大洲市単独出展形式とは異なり、愛媛県共同ブースでの初出展と、全国の産品を扱う「地域資源活用（会）」ブースで出展しました。来場した約9万人のバイヤーなど業界関係者に向けて、商品特徴や取引条件など、「大洲ええモン」商品の売り込みにもより一層力が入りました。既に成約した商談や商談中の案件など、大きな成果に向けて取り組んでいるところです。

これまで、大洲産品の販路開拓などに向けた研修会や専門家による個別相談、首都圏などをターゲットとした商品改良など、地道に進めてきたものが少しずつではありますが、着実に実績として前進しつつあります。

今後も大洲市は、地元のみなさんに愛される「最高傑作の商品づくり」を大切にし、首都圏などへ大洲産品を売り込む「トップランナー」である事業者とともに、大洲市の認知度向上や地場産業の振興、雇用創出など地域経済の発展につながるよう、積極的に取り組んでいきます。

これからも『大洲ええモン』の挑戦は続きます。